

### 第3期志賀町子ども子育て支援事業計画（案）に係る意見募集結果について

- 1 募集期間 令和7年5月7日（水） から 令和7年5月14日（水） まで
- 2 意見提出者 3人
- 3 意見等の概要及び回答

No.	項目	意見の概要	担当課	回答
1	第2章 子どもと子育てに関する動向	<p>子どもの日用品を購入できる商業施設の誘致 可能ならば飲食店も誘致してほしいです。地元飲食店を守ることも大切ですが、テイクアウト商品やファストフード店、ファミリーレストラン、お弁当屋等々、「子育て世帯でも外食しやすい飲食店」や「仕事で忙しい家庭の食事を（健康的に）支えてくれる飲食店」などは極めて少なく、地元飲食店では補えていない飲食店ジャンルはたくさんあるように思います。</p> <p>子どもとの外食や子どもの衣類などの購入は隣町まで出ることが当たり前になっており、片道20～30分の道のりは、子ども連れには負担です。気軽に利用できる飲食店や商業施設が志賀町に増えるよう、誘致等が可能なのであればお願いしたいです。</p>	商工観光課	<p>子ども用品を買えるお店や、外食しやすい飲食店を誘致することについてのご意見は、地域の子育て環境を良くするためにとっても大切な考えだと思います。子育てをしている家庭が気軽に利用できるお店や飲食店が増えることで、地域の魅力も高まり、さまざまなお店が共存することで地域全体が元気になると考えています。</p> <p>しかし、人口が減少している中で商業施設や飲食店を誘致するには、企業側の採算性をしっかり考える必要があります。志賀町としても、地域の特性を考えながらさまざまな課題に取り組みつつ、利用しやすい商業店舗が進出できるよう努めていきます。</p>
2	第2章 子どもと子育てに関する動向 第4章 子ども・子育て支援の事業展開 第5章 子ども・子育て支援の施策展開	<p>子ども向けの居場所づくりが課題としてたくさん挙げられていますが、実際の計画案の中には具体的な解決に繋がる事項はみとめられないように思いました。</p> <p>児童館はイベントも毎月あり、先生方も温かく迎えてくださり、私の子どもも大好きな場所ですが、実情として児童館だけでは志賀町の子どもたちは満足できておらず、他の市町の室内遊具等に出向いている人が大半のように感じます。</p> <p>児童館は夏場、体育館はかなり暑く、熱中症の危機感を覚えるレベルです。涼しい部屋はあるものの小さな子どもが利用するエリアや、小さな図書エリアのため、小学生が行き場を失っているように感じます。</p> <p>難しいことは承知しておりますが、羽咋市のラクナやかほく市のかほくくのような室内で快適に、広々とのびのびと、多年齢が遊べる施設は、児童館以外にも必要だと考えます。</p>	企画財政課 震災復旧復興 創生室	<p>子ども向けの居場所づくりのご意見については、昨年開催したオープンミーティングや石川県主催の「のと未来トーク」などでもご意見をいただいております。</p> <p>町では、昨年7月末に令和6年能登半島地震からの創造的復興の道筋を示す復興計画を策定しました。</p> <p>被災した既存のスポーツ施設をはじめとする公共施設の復旧のほか、重要施策として、復興のシンボルとなる複合型の避難拠点施設と防災公園の整備、道の駅とぎ海街道周辺の再整備などをリーディングプロジェクトとして位置づけており、その中で子ども達の遊べる施設の設置等を検討していきます。</p>
3		<p>子育て支援事業計画（素案）を保護者にも読めるように設置して頂いてありがとうございます。朝の送った後や迎え時に読みこむには時間がなかなかつかくれず、全て目を通すことができません。保護者が家でも事業計画を見ることができる方法はありますか。</p>	子育て支援課	<p>志賀町子ども子育て支援事業計画（案）の閲覧方法につきましては、志賀町公式ホームページで閲覧できます。</p>